

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
1	こころの交流事業	特定非営利活動法人 こころの森	石巻市	石巻南浜復興祈念公園は、令和3年4月1日より開園したが、かつてこの場所には2000世帯、6000人もの人々が住んでおり、東日本大震災により501人が犠牲となった場所でもある。そのため、多くの人が足を運び、笑顔になる場を創造することで被災者のこころの復興につなげる必要がある。本事業は、石巻南浜復興祈念公園で定期的に祭りを開催することにより、青空の下、地元出店者と地元被災者のこころの交流を図り、こころの復興を実現する。また、毎年継続することにより、復興祈念公園のこころの交流イベントとして定着させることが目的である。	2,450
2	ダーツ交流会・杜の都の笑楽隊	広瀬川倶楽部	仙台市・多賀城市・名取市・岩沼市・山元町・東松島市・七ヶ浜町・気仙沼市	①ダーツ交流会 毎月1回1ヶ所1回の定期開催を中心に開催し、スポットで要請があれば全て引き受けて開催する。「心の復興応援」を目的として「ラフターダーツ」として「鳴り物・表笑状」等を用意して住民同士が大きな歓声をあげ、大笑いしながら笑顔の交流の場となっている。 ②杜の都の笑楽隊 1ヶ月1日を基本として「市営住宅・集団移転先」を中心に開催する。キャッチフレーズは「歌って 踊って 大笑い 日本一のバラエティショー」1か所2時間を基本としており、平均12名編成の講演。	930
3	第8回気仙沼こども芸術祭	気仙沼市文化協会	気仙沼市	文化芸術は、楽しさや感動、精神的な安らぎ、生きる喜びをもたらし、生活や人生を豊かにします。特にふるさとに根付いた文化芸術を体験し育つ子どもたちは、地域の人々や被災者を癒し、その心の支えになると考え、「気仙沼こども芸術祭」を行ってきました。震災復興はすすみ、経験のない子どもたちもいますが、コロナ禍による人と人との希薄さを、文化芸術の力により人々の心を癒し、地域のつながりをつくる機会と考え「第8回気仙沼こども芸術祭」を企画しました。	738
4	閑上・元気を運べ・コミュニティ再生事業	一般社団法人 ふらむ名取	名取市	閑上地区の課題は、移住住民と地元住民のコミュニティ形成と町内会に属さない公営住宅コミュニティがあります。それぞれのコミュニティ再生へ向け茶話会・季節行事などの取り組みを行っています。住民の高齢化進み自治会組織も機能低下を余儀なくされています。孤独防止、顔の見える関係づくりを継続してコミュニティ形成に役立てとして、茶話会開催、傾聴活動、地域情報紙「閑上だより」発行を継続していきます。茶話会、傾聴はお互いの情報共有を図り、閑上だよりは情報提供と住民が配布システムで顔の見える関係づくりに寄与できていることと考えています。	1,400
5	被災者と地域住民コミュニティのIT活用による絆づくり	公益財団法人 仙台応用情報学研究振興財団	石巻市・東松島市・南三陸町・山元町	スマホや電子決済などの様々なデジタル化の波が押しよせている状況の中で高齢者においては使いこなせない現状がある。デジタル社会の利便性を誰一人取り残されず享受できるようスマートフォン等の基本的な操作やアプリの使い方を教えることでデジタルリテラシーを向上させスマートフォンをお使いこなすことで、オンラインで友人や家族とコミュニケーションをとったり、趣味や興味を追求したりできるよう定期的に開催する場所を提供し住民相互の絆作り自治会との交流を深めながら地元の活性化に繋げる事を目標にする。この講座を通じて高齢者の生活の質を向上させ、デジタル社会への適応をサポート出来ることを目指す。	1,400
6	被災地に笑顔を創る種をまく 地域住民の交流による仲間創りと地域活性化事業	一般社団法人 WATALIS	亘理町	新たな地域課題である被災者の孤立化と遊休農地の増加による生活環境の悪化に対応するため、被災地域の景観美化を図り遊休農地再生にも貢献できる交流活動として、亘理町内の遊休農地（活用予定面積約20a）で花の種まきや手入れを行った後、身体の疲れを癒しながら被災者同士が語り合うお茶会を実施。多様な被災者が集いともに活動する機会を提供する。取り組みの周知と参加者掘り起しのための広報活動（チラシ、HP更新、ニュースレター発行）も併せて実施する。	1,800
7	被災者支援・ふるさと東北支え合い運動	特定非営利活動法人 仙台明るい社会づくり運動	名取市・石巻市・気仙沼市・南三陸町・仙台市	被災された方と生きる糧になる『生きがい』を共に創っていく仲間として継続的に支え合う・全国から東北を訪れる人を後押し、共に支え合える環境を提供する。 コミュニティー支援（地域食堂、健康体操）：24回開催 文化芸術活動支援（コンサート）：5回開催 子ども支援（おやこフェス）：2回開催（仙台、石巻） 震災風化防止（被災地訪問）1回 コミュニティー支援（夏祭り、芋煮会）：各1回開催	1,038
8	文化芸術、農業、災害伝承を通じた心の復興	遠足プロジェクト実行委員会	石巻市	被災者の心の復興を目的として、被災者が主体になり①芸術祭、②畑、③サロン、④震災資料館づくり、⑤国際シンポジウム開催を行う。被災者同士のつながりを形成し、いきがいつくり寄与することで、心のケアと共助の力を高めることを目指す。参加者には障害者や在留外国人も含まれ、多様性のあるコミュニティの形成によってレジリエンスを高めることをねらいとしている。	1,400

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
9	被災者自身が主体的に参加する「心の絆づくり」音楽プロジェクト	東北市民バンド協議会	多賀城市	被災者自身が主体的に参画し、災害公営住宅自治会等の自立・活性化を図り、町内会や自治会等の各種団体との連携によって、性別や世代を超えた交流が深まり、新たな絆づくりの創生を目的とします。被災者が住民を誘い、参加者が打楽器、歌、手話などを演奏家や歌の指導者と一緒に参加し、体験型コンサートを災害公営住宅集会所で行います。町内会で開催する夏祭りや敬老会等の行事でも開催します。演奏会終了後は感想などを話し合い、参加者の親睦と融和を図り、住民同士の絆を深めます。更にアンケート調査を行い、次のイベントに反映するとともに、居住者の課題や求めているものを見つけ出して自治体などへ提供します。	1,400
10	おんがく∞元気玉プロジェクト	労働者協同組合 おたすけおんがく隊	石巻市他	小さな目の届かない地域を中心に周り、音楽を通して人と人を繋ぎ、孤立する人をなくしたり、楽しい時間を過ごし癒しの時間を作ることで、心の復興を図る。自分たちの拠点である石巻市雄勝町を中心に周りの地域へ活動を広げていく。若者の参加も促進する為に、興味を持ちやすいイベントやプログラムを開催する。若者自身が曲作りや演奏をする機会を提供することで、若者の関心を引きつける。これらの取り組みを通じて、高齢者と地元若者の交流を促進し、地域社会全体の結束を高める。各地域の集会所等を利用した音楽を中心とした地域交流イベントを開催	1,800
11	亘理を舞台にした地域課題を学ぶボードゲーム制作プロジェクト	一般社団法人 スタンドアップ亘理	亘理町・山元町・大河原町・岩沼市	東日本大震災以降、PTSDや心理的な心の不安など心に様々な困難を抱えている方は少なくない。自分たちが住みたいと思える、まち・地域を実現するために、どのようなアクション・政策が効果的なのかをシミュレートし、まちがどのように変化していくのかを理解する。産学官民連携のまちづくりモデルを目指す。 ①震災を経験していない子どもと被災地域住民の交流（フィールドワーク）を通じた心の表現活動（年6回） ②フィールドワークの中で得た学びを全国各地やまちづくりへと反映させていくことができるツールとして、亘理を舞台にした地域課題を学ぶためのボードゲーム制作活動（2024年10月～2024年12月） ③震災の風化防止と記憶の伝承活動（年3回：2024年7月、8月、2025年3月）	631
12	みんなの感謝フェスタ	気仙沼ライトハウス	気仙沼市	市全体が震災の影響を受けている気仙沼市で、人と人を繋ぐまちづくりの取り組みで前進するには、ここでの在り方、「感謝をする心」が重要だと気づき、心から立ち上がる力を大切に、地域のひとり一人が今出来ること、今持っているもので、みんなで参加できる地域コミュニティづくりが目的。テーマを「感謝音頭」と輪踊りで設定。会場は、ステージ、出店、展示・体験コーナー、屋台等による飲食店等で構成。ボランティアが中心に運営。震災から13年経ち、被災者と非被災者の温度差が拡大傾向にある中、被災者の方々が参加し易いように、横のつながりと個人個人のやる気を大切に、被災者の方々の興味ややり方を尊重し、自主的参加を促すと共に、被災者、非被災者を問わず地域のみなさんが楽しく参加できる、住みやすい地域コミュニティづくりが促進できるように取り組む。 第4回 2024年10月19日、20日 松崎尾崎防災公園にて実施予定	1,260
13	1マイルアートカフェ	1マイルアートカフェ実行委員会	石巻市	被災者が主体となって気軽に散歩がてら歩いて行ける美術展とコンサートを企画する。住民参加型の作品展から本格的な美術展まで多様な芸術に触れる機会により外出の楽しみを増やし、心の復興を果たす。また毎年開催することで、新しい街の地域文化として根付かせる。 ①住民会議（10名程度）…企画、運営に復興住宅街の被災者が関わる企画会議（4回程度） ②のぞみ野地区10月、向陽町11月開催予定。作品展と手作りワークショップ（クリスマスグッズ作り）原画展とライブコンサート、…近隣住民の30人程度の作品展（2日間×2か所）、ワークショップ50人参加（2日×2か所）ライブコンサート（2日間×2か所） ③かわべい市民交流センターにて3月実施予定。作品展。ワークショップ。山浦多久二原画展と安田智彦ジャズライブ。映像とライブコンサート…本格的な原画とライブを楽しむ。	1,800
14	後期高齢者の多い鶴ヶ谷を、大震災に負けず再び明るく元気な街へ!	つるがや元気会	仙台市・利府町・富谷市	仙台市復興団地で高齢化率が38.2%と最も高く75歳以上の後期高齢化率24.3%と全国、宮城県、仙台市の約倍もあります。避難被災者を含めて鶴ヶ谷地区を活性化し、明るく元気な町にするため、健康講座・市民講座・童謡を唄う会・ロコモ体操教室・バランス体操教室・水中ウォーキング教室・サロン「ほっとカフェ つるがや」「つるがや元気まつり」のコロナで2年間活動中止後の活動再開、「心の復興活動」内容・回数面でも順調に推進しています。	1,400

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
15	被災者たちの挑戦 ～大人たちが守るこどもの命～	一般社団法人 Bird 's-eye	多賀城・石巻市・大崎市・利府町他	被災者たちが集い、3.11時の知恵と経験を出し合い、経験が次の大規模自然災害に活かされる機会と場所を得ることで新たな生きがいを見出せば明確な役割を担い心の復興に繋がってゆくことを目的とする。幼保施設の多くは頻発する大規模自然災害から園が本当に子供たちの命を守れるか不安を抱えている。まして多賀城市では57%が想定浸水域であり保育士や保護者の不安が募るばかり。この幼保施設と被災経験者の地域の方々が繋がることで需要と供給のバランスのある地域連携を目指す。被災経験者や遺族が小さな子供たちの命を繋ぐために必要とされている意識を持つことが大切である。	1,800
16	みらいに残す、ふるさとの食卓 ～大人から子どもたちへ伝えておきたい味と思い出～	一般社団法人 こどもみらい研究所	石巻市・東松島市・女川町	東日本大震災で津波の被害を受けた石巻圏域（石巻市・東松島市・女川町）では、移転によるコミュニティの希薄化、少子高齢化・過疎化による核家族化が急速に進み、生活文化を直接伝承する機会が少なくなっている。本取り組みでは、暮らしとともに連綿と伝えられてきた文化の中でも「食」に焦点を当て、伝統的な郷土料理のレシピとおいしく作るコツを、年長者から子どもにもワークショップ形式で伝え、その記録を残すものである。地域全体を家族とみなし、かつて祖父母が子、孫に伝えてきたような方法による伝承の機会を創出し、世代を超えた人と人のコミュニケーションを醸成しながら、「ふるさとの食卓」を伝え残すことが本取り組みの目的である。 郷土料理が得意な大人のみなさんと地域の子どもたちが、一緒に料理し、試食する過程で、コミュニケーションをはかるワークショップ型のイベント（春夏秋冬4回開催）。一連の様子を記録、レシピとともに小冊子を制作、石巻市・東松島市・女川町の小学校全児童に配布する。オンライン上でデジタルアーカイブも行う。	1,800
17	被災者と社会的弱者の交流から生まれるPTG	チャイルドネットジャパン	石巻市・塩竈市・女川町	震災でトラウマに苦しむ人へのPTGのアプローチは、先駆的なもので、この考えを基にすると、不登校の子どもや、ひきこもりの人、障がいのある人やシングル親、悩みを抱える人（以下：社会的弱者）にも、こころの回復が期待できます。日本人女性研究者が提唱したPTGは、トラウマに出会っても、その悲しい経験を「マイナスの経験」として、それを「乗り越える」から、マイナスを「引きずりながら」もプラスに転じる可能性があると思え、成長・発展につなげるという方法論です。この素敵な考えを伝えるために、回復された被災者の皆さんの経験を、他の社会的弱者や、まだトラウマを抱えている被災者の方と交流することでつなぎ、心の復興を目指すことが目的です。	1,400
18	NaNa5931オリジナルミュージカル公演	七ヶ浜国際村事業協会	七ヶ浜町他	町民が舞台芸術を身近に感じられる環境づくりのため2001年に設立され、小学生から社会人までの町民で構成される七ヶ浜国際村の育成ミュージカルグループNaNa5931によるオリジナルミュージカル公演を実施します。本事業は「世代間交流の促進」「震災の風化防止」「町の文化の発信・継承」を目的としており、演者・観客ともに「明日への希望」と「地域への愛着と誇り」を感じることでできる七ヶ浜ならではのステージを作り上げます。	1,400
19	「ひかりのことは『いのちのかたりつぎ』」事業	一般社団法人 三陸まちづくりART	石巻市	東日本大震災の実体験を被災者から直接聞いた子どもたちが、芸術を通じてその体験を表現することで、参画者の共感的理解と心の復興を促進することを目的とします。震災伝承施設MEET門脇の協力のもと、被災地を訪れ当時の話を聞くことから始め、全7回のセッションで創作活動に取り組みます。最終日には家族や地域の被災者を観客に招いて表現活動を披露します。本事業を通して、参画者が自分なりの表現で次世代に被災体験を伝えていこうとするきっかけを提供します。	1,400
20	ジュニアジャズミーティングinみやぎ2024	公益財団法人 宮城県文化振興財団	仙台市・石巻市	公益財団法人宮城県文化振興財団、復興支援音楽の会（神奈川県横浜市）及び公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会が連携し、震災からの復興と次世代を担う子供たちの育成と交流を図るため、被災地のジュニアジャズグループに発表の機会を提供し、演奏環境や運営について支援する。今年で8回目を迎える本事業において、子供たちの中には、震災を経験していない児童が増えてきている。そこで本事業を通して震災の記憶を語り継ぐとともに、被災地域に住む子供たちの元気な姿を県内外に発信する。また、世代間の親睦を深め地域住民との交流を促すことで、地域の活性化と心の復興に寄与する。 ①開催日：令和6年9月7日（土） 場 所：石巻市中央公民館（予定） 参加者：石巻ジュニアジャズオーケストラ、県外ジュニアジャズオーケストラ2団体 ②開催日：令和6年9月8日（日） 場 所：東京エレクトロンホール宮城 大ホール 出演：石巻ジュニアジャズオーケストラ他	1,400

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
21	被災地域（南三陸町）の若者のつながりと地域への愛着を促進するプロジェクト	南三陸 YY Project	南三陸町	①高校生や地域住民の交流の場「クロストークカフェ」の定期開催 高校生が自由に語り合い、地域の大人との交流の中で自身の関心事や地域理解を深めていく機会を継続的に開催する。南三陸高校志翔学舎や地域のコミュニティスペース等を活用予定 ②「南三陸カルチャーフェスティバル（仮）」の開催 震災伝承や地域住民の交流・活躍の場の創出を兼ねた文化的な複合イベントを行う。音楽イベントや映画上映会、震災前の南三陸町の記録展等を開催する。	1,571
22	石巻地域の大人が高校生の主体的な活動を促進し、互いに生きがいを育みあう心の復興支援事業	一般財団法人 まちと人と	石巻市・東松島市・女川町	取組①地域で主体的に活動したい高校生と地域の事業所をマッチングし、高校生ボランティアとして地域活動に参加する取組。主に高校生の夏休みと入試期間（7～8月中と3月上旬）に実施する。（参考：まきボラHP https://makibora.jp/ ） 取組②高校生が地元企業への実践型インターン（企業課題の解決や事業の推進を目指す、長期型のインターンシップ）を実施する。今年度は高校生の夏休み期間で2～3週間実施する。（より実践的・効果的に行うため、少数で実施）	1,400
23	南三陸と登米をつなぐスマホカフェプロジェクト	特定非営利活動法人 とめタウンネット	南三陸町・登米市	登米市には、南三陸町から多くの被災者が避難後、そのまま定住されているが、既存のコミュニティに入ることが困難な方も多くいらっしゃる。また、登米市民もその多くは南三陸からの移住者と知り合う機会が少ない。そこで、南三陸から移住し開業したカフェでスマホカフェを開催し、南三陸町出身者と登米市民が出会う機会を作る。 南三陸町では、集会所等の公共施設以外で、趣味のサークルを開催する例は少ない。そこで、志津川のレンタルスペースを利用し、「癒しの時間+スマホカフェ」を開催し、癒しの時間を提供する。 取組①スマホカフェ（登米市）毎月1回、カフェで、スマホカフェを実施。講師や、とめタウンネットスタッフが、スマホの使い方をレクチャーする。 取組②癒しの時間+スマホカフェ（南三陸町）毎月1回、イベントを開催。ピーチクリーンのあと、癒しの時間としてチョークアートなどの体験会を開催。その活動の記録の取り方や、SNSへの発信の仕方などをレクチャーする。	1,400
24	若者の伝承力を演劇メソッドで発揮	一般社団法人 ボランティア東北ファミリア	南三陸町・気仙沼市	被災地の若者が被災者から聴き取りをして朗読劇で語る事で、被災者の心が晴れ、また朗読劇メソッドを学ぶ事で表現力が付き、学んで活用したメソッドが自身のプレゼン能力のアップにつながり、ファシリテートも学べる。 第1回 2024年7月下旬 南三陸町朗読劇の聴き取りと、ワークショップ予定 第2回 2024年8月下旬 南三陸町で演劇公演 第3回 2025年2月下旬 南三陸町で朗読劇	1,400
25	石巻南浜復興祈念公園周辺の民間伝承施設における被災者主体の伝承	公益社団法人 3.11メモリアルネットワーク	石巻市	石巻南浜復興祈念公園の市民活動拠点に設置した「南浜つなぐ館」や祈念公園および震災機構門脇小の隣接地に整備した伝承交流施設「MEET 門脇」の2施設において震災前の写真や3.11当日の避難行動、被災物や資料の提供など被災機企業の販売商品や、5回以上の追加展示企画により多くの被災者が関わる機会を提供する。	1,800
26	和太鼓によるコミュニティ形成支援プロジェクト	浦の浜親和会	気仙沼市	今年度は大島の島民が参加する「大島公民館まつり」での披露演奏を目標にしており、これを機会に「浦の浜親和会の和太鼓の活動」の島民への周知を目的とするほか、浦の浜以外の地域の住民とのふれあいも促進していく。地域主体の和太鼓団体として活動していきたいと考えており、今後も継続して行っていくプロジェクトである。和太鼓ワークショップ実施日程和太鼓ワークショップ実施日程 第1回 7月23日（火） 浦の浜地区内施設 第2回 10月8日（火） 浦の浜自治会 第3回 11月22日（金）（または29日（金）） 浦の浜自治会にて 発表会11月23日（土）（または24日（土）） ※大島公民館まつりに参加 大島公民館にて	401
27	地域の魅力を引き出し交流につなげる遊び場・サロン事業	特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク	仙台市	仙台市若林区の沿岸部では、集団移転跡地の利活用が進む一方、人口減少の進んだ現地再建地域と、高齢化が進むなか住民層の多様化が進行する集団移転地・復興公営住宅等の移転先地域の両地域共に、コミュニティの維持に苦心している。そんな中、地域の子どもたちが以前遊んできた記憶をたどりながら地域資源を活用し地域の魅力の再発見に資する子どもの遊び場活動や、かつて自分自身で暮らしをつくってきたことを思い起こすことにもつながる、集会所でのものづくりを中心とした交流サロン事業などを実施してコミュニティの維持・活性化につなげていく。 取組①「地域の自然資源を活用した遊び場活動」 取組②「交流サロン『縁側倶楽部』」	930

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
28	映画・演劇で人々を繋ぐ、地域活性プロジェクト	石巻劇場芸術協会	石巻市・東松島市・南三陸町	映画・演劇が持つ力でコミュニティ形成を行い、心の復興と地域の活性化を目指すため、様々な市民が企画を立てて参加する事業。実施の際には、安全管理や感染対策の徹底、参加者情報の管理に努める。また、企画については、専門家にも入っていただきながら、市民有志の参加によるワークショップなどを通して、作り手と鑑賞者の枠を越え、インタラクティブに、かつ積極的に市民が参加できる形で検討を行う。映画・演劇は、インターネットの有料動画サービス等を使用し簡単に観ることができるが、現場に足を運んで観る機会は失われてしまっている側面もある。この事で失われるものは芸術性ではなく、コミュニケーションや関係性である。本事業では、各地域さまざまな場所で市民参加でイベントを作っていくことで、普段では得られない手作り体験や、新たなコミュニティの創出も目指す。映画の上映として全3回、演劇ワークショップとして全2回を予定しており、最大3地域で実施する。	1,300
29	『人とアーカイブの交差点』～震災前の石巻を、観て・聞いて・探して・話そう！～	特定非営利活動法人 石巻アーカイブ	石巻市	震災前アーカイブ所蔵資料を展示閲覧できる常設の展示・閲覧・交流会場を設置。それぞれの写真の特徴を考慮し、時期や展示閲覧方法を検討しながら「人と思いの交差点」テーマに、気軽に訪れることができる展示・閲覧・交流スペースを市内中心部空き店舗で展開する。 第1回：5/18～10/14：人とアーカイブの交差点「73年前の石巻&宮城」カラー写真展 第2回：10/下旬～1/中旬：人とアーカイブの交差点「震災前の石巻」写真展&地図展（開館期間中）： 「13年目の写真返却」「郷土史資料閲覧コーナー」 （予定）：出張「人とアーカイブの交差点」地域未定3～5箇所、「人とアーカイブの交差点」 中学・高校生対象出張講座2～3箇所	1,600
30	名画こころの交流事業	石巻名画座	石巻市・東松島市・女川町	名画、話題作、石巻ゆかりの作品など映画の上映を通じて、潤いのある生活を取り戻す活動を目指す。石巻では、かつて市街地に5つあった映画館がすべてなくなり、郊外のシネコンだけになってしまったので、古い映画をかける劇場がないのが現状のため、娯楽を求める人たちの要望に応えることで、心の復興につなげたい。主に懐かしい作品を上映することで、友人知人とのコミュニケーションが広がり、新たな発見に出会うことにもなる。トークイベントで観客の交流を図り、学びの機会とする。地場産業とのコラボで地域活性化を促し、交流人口を増やす。 令和6年4月27、28日 イタリア映画「ニュー・シネマ・パラダイス」上映。トークゲストに石巻女子高OGの彫金家菅原節子さんを招く。イタリア在住経験を生かしたトークでプラスワンの楽しさを提供する。6月29、30日「キューポラのある街」上映予定 8月31、9月1日「この広い世界の片隅で」上映予定	1,600
31	OGATSU SEA SIDE FES	OGATSU SEA SIDE FES 実行委員会	石巻市	石巻市雄勝町の防潮堤に描かれた壁画の前で、アート、音楽、食、アクティビティなどを楽しむことができるイベントを開催し、住民、町を離れた被災者、そして新しく雄勝を訪れる人々が交流を図り、それぞれの心が豊かになるような1日を作ることを目的とする。一昨年からは始まった「海岸線の美術館」プロジェクト。昨年、一昨年と壁画の完成披露会として、プロジェクトを企画している一般社団法人SEAWALLCLUBが壁画祭りを開催してきた。今年度からは住民が主体的に企画、運営を行っていくことで被災者の生きがいや意欲を引き出ししていく。出展者の多くが被災者であるため、売り上げの向上によるやりがいの創出、地域の活性化も期待される。毎年続けていくことで、1年に1度皆が笑顔で集える1日になっていくことを目指す。 「OGATSU SeaSide Fes」 令和6年10月13日（日）石巻市雄勝町下雄勝（海岸線の美術館前）	1,800
32	こころの復興ミュージカル『忘れたくない』	一般社団法人 SCSミュージカル研究所	仙台市	東日本大震災の記憶と教訓をミュージカルの形で発信することで被災者の心に寄り添い、鑑賞者の心に響く舞台を目指す。東日本大震災の記憶と教訓をミュージカルの形で発信することで被災者の心に寄り添い、鑑賞者の心に響く舞台を目指す。 当時のエピソードを通して震災の記憶を風化させないことに加え、今後起こりうる自然災害に備えて防災に関する呼びかけを行い、自分の命を守る意識を持つことを目的とする。 この公演は東日本大震災から14年、さらに戦後80年を迎える2025年3月8・9日に仙台市戦災復興記念館で上演を行う。創作オリジナルミュージカルの上演 日時：2025年3月8・9日（土・日）（3回公演の予定） 場所：仙台市戦災復興記念館 参加見込み人数：公演一般来場者数のべ600名（各回200名程度、合計600名） 出演者・スタッフ各回100名、延べ300名 創作オリジナルミュージカルの上演	1,400

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
33	石巻の水産事業者と地域住民の、地元や水産業への誇りを醸成するプロジェクト	一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン	石巻市	東日本大震災によって壊滅的な打撃を受けた石巻の水産業は、13年の歳月を経て復興を遂げている。しかし、水産業の特性上、被災した水産従事者は地域住民からの直接的な声を聞く機会が少なく、自分たちが誰かの「食」を支えているという実感は薄い。また、魚食減少や津波の影響で、地域住民の海離れが進み、地域の基幹産業である水産業に対して3K(=きつい、汚い、危険)の印象を抱いている。そこで、水産事業者のコミュニティを形成し、地域住民と水産事業者の交流の場を作り出す。漁業体験や工場見学、魚の調理体験を通じて、水産事業者は自らの仕事に誇りとやりがいを見出すと同時に、地元住民は石巻や水産業への愛着や海への親しみを取り戻し、被災者の心の復興につながる	1,800
34	被災地健康支援事業 /被災者の心のケア支援事業	ぶどうの木ネットワーク	仙台市・石巻市・南三陸町	東日本大震災による被災者が、他者との繋がりがや生きがいを持って前向きに生活することができる事が目的です。ぶどうの木ネットワーク代表であり、プライベートサロンVINE(バイン)経営者である整体師の中澤栄子氏と、心のケアの動きを協働してくださる方々と築き上げたネットワーク団体による心の復興支援及び健康支援事業により、地域コミュニティの復興を目指します。 2024年フルートコンサート 実施予定 コーディネート中	1,800
35	「心に潤いを」 2024年度音楽で心と身体の健康をサポートする事業	特定非営利活動法人 認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所	仙台市・富谷市・塩竈市	震災以降、コミュニティへの参加や近隣住民・ご家族とのかかわり方に課題を抱える方が増えていると感じています(例:震災を機にご子息の家に引っ越し、家族や地域に馴染めず孤独を感じている等)。高齢者の割合も多く、認知症を患っている方もいます。本事業の目的はそのような方々を含めて「幅広い地域、年齢層の参加者が交流できる持続的コミュニティを構築する事」と「認知症予防(発症と進行の遅延)に関する啓蒙と情報発信をする事」となります。音楽の持つ、1)記憶として保たれやすい 2)言葉にしがたい気持ちの浄化作用をもつ 3)言葉のいらぬ交流ができるという特長を生かした、「認知症予防音楽カフェ」と幅広い年代の参加者へ、認知症予防に関する様々な知識や情報の普及を行う「心と身体の健康をサポートするワークショップ」を各地で開催します。	1,593
36	被災地域住民のエンパワーメント事業	一般社団法人 リトリーと	石巻市、東松島市、女川町	東日本大震災から13年が経過したが、被災地では分断されたコミュニティの再構築、被災者の生きがいと仕事づくり、人材育成、孤立死、不登校、ひきこもり、経済・教育格差、薬物乱用(OD)、メンタルケアへのサポートが未だに必要な状況であることから、①各種講座(つながるCAFÉ)開催②心のケアを担うサポーターの育成③誰でも気軽に集まれる居場所づくり④心の復興意見交換会を行う。	2,150
37	被災住民が車を共有して支え合い、生きがいをつくる活動をサポートする事業	一般社団法人 日本カーシェアリング協会	石巻市	①地域毎の課題解決をサポート:各地域のサロン・役員会への参加と個別のヒアリングを通して課題を把握し対応する。 ※資金・ドライバー不足、役割分担の偏り等の課題対応 ②地域同士の好事例の共有と交流の促進をサポート:研修を兼ねた交流会を3回実施安全運転講習・大交流会・オンライン交流会を予定。 ③運営の担い手を発掘するサポート:チラシ配布・地域の会合での活動発表の機会づくりを行う。	1,600
38	心の復興サロン及び復興ニュース	特定非営利活動法人 高齢者サポートチームしおたが	塩竈市	①心の復興サロン:被災者・高齢者の心のケア、孤立孤独化防止、居場所づくりに役立てる。浦戸諸島の高齢者被災者と交流し離島の活性化を図る。年22回開催。 ②復興ニュース:支援団体の情報、心の復興、震災記憶の風化防止、地域社会の活性化に寄与し、各種支援団体・各所自治会と交流し支援の輪が広がることにより市民の理解が深まる。年3回7000部発行。	1,384
39	被災地につながる子育てプロジェクト	特定非営利活動法人 子どもの村東北	宮城県内	被災エリアで子育てする親は震災当時、復旧・復興に向かう中で我慢を強いられた環境の中で生活していた大人たちを見ながら育てているケースも多く、子どもが出来ても、誰にも相談出来ない孤立した子育てを行うことにより幼少期の愛着形成が出来ていない親子も多く、子育て現場のケアニーズを探り環境を整備することが求められていることから、①里親カフェ事業②子育て相談事業③ACT子育てセミナー事業④子育てセミナー事業を宮城県内で展開する。	400
40	自立した生活に向けた絆を育む地域連携協働事業	一般社団法人 みちのさき	南三陸町	①社協との協働のもと、各種ワークショップ(ソックキャット作り4回・多肉植物4回)を実施すると共に講師を町内にて育成し、継続的に事業を実施する環境を作る。合計8回実施。 ②住民各自が自宅での手仕事(ネックウォーマー作り)を社協や地元中高校生、多くの住民の協力のもと進め、出来上がったネックウォーマーは石川県能登市の社会福祉協議会を通じて住民皆様に寄贈し、冬季の作業時の防寒対策として活用いただき被災地どうしの心のつながりを醸成する。	1,400

令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金交付決定団体一覧

番号	事業名	団体名	活動地域	事業概要	交付決定額 (千円)
41	こども実行委員～こどもたちが創造するまちづくり～	NPO法人 いろどり・みんなのみち	東松島市	東日本大震災で甚大な被害を受けた東松島市において、震災を経験した子どもと、被災世帯ではあるが震災を経験していない次世代を担う子供たちで結成された「こども実行委員」が主体性を持ち、故郷復興のまちづくりとして企画提案する事業を運営する（奥松島夏祭り、ドまんなかフェス、おばけ屋敷、こども作品展、志合宿、こどものまち）。事業を通して、地域とのつながりや世代間交流、コミュニティ形成による地域活性化を図り、関わる被災者の心の復興や居場所づくりを目指す。	1,270
42	心の復興支援 合唱団パリンカ大河原公演	合唱団パリンカ	大河原町、柴田町、岩沼市、名取市、角田市、丸森町、亶理町、山元町、蔵王町	【第1次募集】大河原町(えずこホール収容802名)を会場に「心の復興支援」演奏会を開催し来場者、出演者がともに楽しい、感動したなど満足できるコンサートを目指し、本格的な合唱演奏を地域賛助出演3団体、合唱団パリンカ総勢150名で開催し来場者600名で参加者合計750名を見込む。 【第2次募集】上記に加え、合唱団員ではない被災者が練習から参加し本番での公演を目指すほか、被災地である岩沼市及び亶理町の観客を約100名ほど無料招待することに加え、高校生以下を無料で招待することとした。	1,562
43	音楽療法による心の復興事業IN宮城2024	特定非営利活動法人 音楽療法NPOムジカトゥッティ	仙台市	人間性を回復させる音楽療法の手法を用いて、個々の解放、有能感、QOLの向上と一体感、共生感を同時に生み出すことを目的とする。音楽療法士と400回の東日本大震災支援を協働してきた、劇団四季ライオンキング初代打楽器奏者BBモフランを中心に、楽しく、意義深く、心身を開放させる効果のあるプログラムが特徴である。一切の楽譜を使わず、講師と共に、歌い、奏で、踊ることにより、年代を問わず、自然なメンタルケアが図られ、専門家がファシリテートすることで、人々の心が開かれ、心の復興が図られる。	1,338